

2020年度（令和2年度）

学校評価自己評価表

福山市立旭小学校

2020年（令和2年）4月1日

2020年度（令和2年度）学校評価自己評価表

福山市立東中学校区	校番 10	福山市立旭小学校
最終更新日		2020年（令和2年）4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校区で課題を的確にとらえ、目標を共有し、授業改善に取り組んでいる。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えや思いを伝え合うコミュニケーション能力や相手を思いやる心が育ちつつある。 自ら課題を発見し、解決しようとする意欲や課題解決のための情報収集力に課題がある。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力、表現力、自他の尊重</p> <p>自己を認識する力、自己決定する力、表現する力をもった子</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びを楽しむ生徒の育成（主体的な学びの推進） よりよい生活を考えて行動する生徒の育成（長期欠席者ゼロへの取組） 社会に貢献する生徒の育成（ESD教育への取組）
--	---	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>自律（自分で考え、判断し、実行する）と協働（仲間とともにがんばる）の精神をもった児童の育成</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え 共に輝く</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な学力は定着してきているが、根拠をもとに関係づけて説明する等表現する力に課題がある。また「読み取り」の力が弱く文章問題を解く力の育成が必要である。 児童同士が認め合える場の設定等をした結果、児童の自己肯定感が高まってきているが、自律した児童を育てる取組は十分ではない。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くことで自分の意見をもたせる活動」を授業に取り入れてきた結果、児童が考えをもつことはできているが、効果的に深めることができていない。 目的を明確にしたペア学習・グループ学習を行うことが日々の授業で見られるようになった。さらに児童同士が学び合う取組を進めていく必要がある。

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	表現する力	自他の尊重	
めざす子ども像	低学年	〇めあてを見つけ、興味・関心をもって追究している。	〇友だちと話し合うことで、考えを深め、伝えようとしている。	〇友だちとともに活動する中でそれぞれの良さを体感し、仲よく助け合おうとしている。
	中学年	〇自ら問題を見だし、見いだした問題を興味・関心をもって追究している。	〇ペア学習・グループ学習・全体交流で相互に話し合う中で、学びを深め、表現している。	〇友だちのよさと自分のよさを知り、学級での自己の役割を自覚して仲良く助け合っている。
	高学年	〇自ら課題を見つけ、生活経験や学習経験を基に、見通しを持って追究する学び方を身につけている。	〇ペア学習・グループ学習・全体交流で相互に話し合う中で、論理的表現力を高めている。	〇友だちのことを思いやりながら自分の役割や責任を果たし、自己の向上を図るとともに人のために役立とうとしている。
研究	教科等	理科（生活科）・特別活動		
	主題・内容等	自分の考えを生き生きと表現できる児童の育成 ～課題解決に向けて 主体的で協働的な学びのある授業づくり～		
めざす授業の姿	『学び合い』によって子どもが学びを楽しむ授業 〇課題発見に向けて、主体的に考えている 〇課題に対して自分の考えをもち、協働的に学んでいる			

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							取組状況	加 点 評価	達 成 評価	改善 方策	短期経営目標の 達成状況	加 点 評価	達 成 評価	総合 評価
1	主体的な学び の推進 学びを楽しむ 児童の育成	★	新 規	・『学び合い』の 授業を全教室で 行う。	・1時間の授業の 中に児童が表現 する場や児童同 士が交流する場 を必ず入れる。	・学び合いにより考 えが深まる90% 以上								
				・主体的な家庭学 習の工夫	・1週間の計画を 立てて取組み, 週 末には必ず振り 返りと次の目標 を設定する。	・自分で計画を立て て学習する80% 以上								
1	長期欠席者 〇への取組 よりよい生 活を考え, 行 動する児童 の育成	★	新 規	・自発的・自治的 な特別活動を推 進し, 自他を尊重 する児童を育成 する。	・学級会の議題を子 どもの提案で決定 する等, 子ども主 体の活動を仕組む。	・学校は楽しい 90%以上 ・不登校児童〇								
				・自分の体力や健 康に関心をもた せ, 共に体力向上 に努める場の設 定をする	・自己の課題をもと にがんばりカード を作って取組み, 継 続的に評価をする。	・目標をもって体力 向上に努めている 80%以上								
1	ESD 教育へ の取組 地域に貢献 する児童の 育成		新 規	・地域と連携した ESD 学習の推 進を図る。	・SDGsの視点を取 り入れ, 教科と関連 させた学習を仕組 む。	・全学年1単元以上 実施								

1	教職員の元 気・笑顔	新 規	元気に児童と向 き合う職場環境 をつくる。	・子どもたちのため に何ができるかを 常に語る職員室 にする。	・仕事に意義とやり がいを感している 95%以上									
				・1日の時間外勤務 時間を2時間以内 にする。	・時間外勤務時間が 月平均 45 時間を 超える教職員0人									

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。